記者発表資料

平成 27 年 2 月 4 日
湯沢河川国道事務所

今冬の豪雪でも消流雪用水導入事業が効果を発揮中

国土交通省では、冬期に安全で快適な生活環境を確保するため、水量の豊富な雄物川から市街地を流れる中小河川等に消流雪用水を供給する消流雪用水導入事業を実施しています。※

今冬も１月３１日までの積雪が湯沢市で例年の約１．４倍となり、厳しい豪雪となっておりますが、これまで消流雪用水導入事業が整備された地域（面積約320ha、約3,900世帯、約13,000人）では、今冬の豪雪においても、除排雪作業の軽減や道路での歩行者空間の確保など、その効果が発揮されています。

※例年：1985 年～ 2010 年平均（気象庁ﾃﾞｰﾀ）

【事業の効果】

雄物川水系（湯沢河川国道事務所管内）では、湯沢市内の３地区（松沢川地区、鉦打沢川地区、上関地区）において整備を行ってきました。

整備された地区では、自宅前の流雪溝への投雪により除雪作業の大幅な軽減や、積雪で阻害されていた歩道者空間が確保されるなど、安全で快適な生活環境となる効果が発揮され、**地域からは「大変助かっている。除雪が楽になった。」「流雪溝が詰まらなくなり、捨場に困らなくなった。」「通学の子供達も安全になった。」などの声が寄せられています。**

＜発表記者会＞秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局

問い合わせ先

【国土交通省　東北地方整備局　湯沢河川国道事務所】
秋田県湯沢市関口字上寺沢６４－２
電話　０１８３－７３－５５０４
副所長（河川担当）佐藤　徳男
工務第一課長　畑山　作栄

豪雪地帯の課題

＜中小河川の雪による閉塞に伴う浸水＞



地区内の中小河川や流雪溝は流量不足のため、積雪や投雪により閉塞し、宅地や道路に浸水被害が生じます。

＜過酷な除雪作業＞



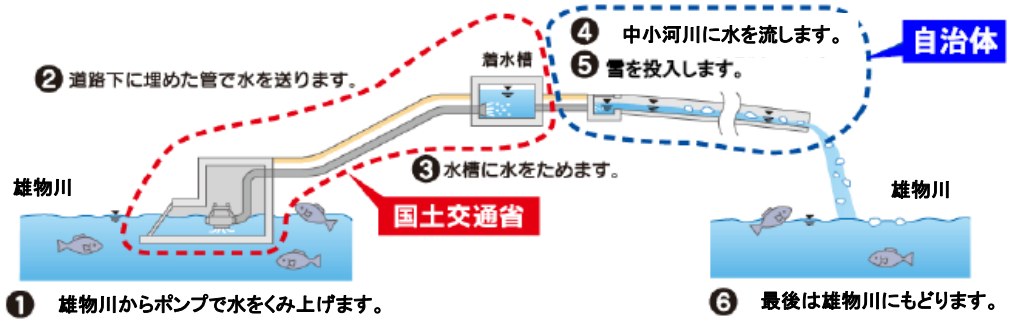
除雪作業は多大な労力と時間を費やします。

＜歩行者空間や車の交通を阻害＞

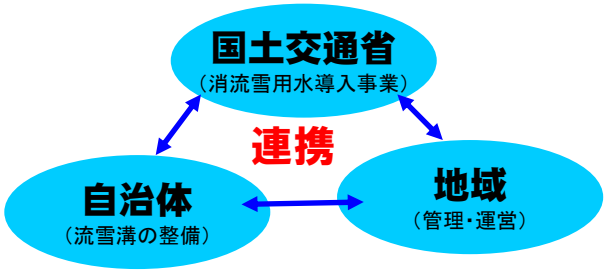


捨て場のなくなった雪が歩道や車道に多く堆積し、歩行者や車の交通を妨げ、地域住民の生活環境の大きな支障となります。

消流雪用水のしくみ



関係機関との連携



消流雪用水導入施設による効果





■湯沢市内　＜歩行者空間の確保　＞



排雪先がなく、歩道が雪で埋め尽くされていたため、児童の通学も危険な状況でした。



歩道の雪堤は無くなり、通学路も安全になりました。

消流雪用水導入施設による効果

■　湯沢市内　＜除雪作業の軽減＞



排雪先が無い為、トラック等で排雪しなければなりませんでした。



導水することで、円滑な除雪が可能になりました。

■　湯沢市内＜歩行者空間・車道の確保＞



路肩に堆積した雪堤で車両通行が困難になっていました。



路肩の雪堤が解消し、スムーズな交通が可能になりました。

地元の声

消流雪用水導入施設が整備された地区の方々の意見をうかがいました。

消流雪用水導入施設が整備されて・・・

全体

●大変助かっている。以前は川に雪が積もり渡れるほどだった。（80代　男性）

●水量が多くなり川の雪が詰まることがなくなった。下流では川が溢れることもあったようだ。（50代　女性）

●思ったよりも水が多く助かっている。歩道も確保でき、車の駐車もしやすくなった。（50代　男性）

●水量が多くなったから詰まらなくなり、スムーズに流れるようになった。（60代　女性）

除排雪費用の軽減

●事業前は車道の路肩等に雪が堆積し、排雪作業をしていたが、事業後は市民の手で流雪溝に処理することにより雪の堆積が減少し、排雪作業の回数が減った。（湯沢市職員）

安心・安全

●捨場が無く歩道に山積みになった雪のため、通学の子供達も危なかったが、大分安全になった。（60代　女性）

●西側の流雪溝に水が無く、道路を横切って東側の流雪溝に捨てていたが、今は両方の流雪溝に十分な水があり安全になった。（60代　男性）

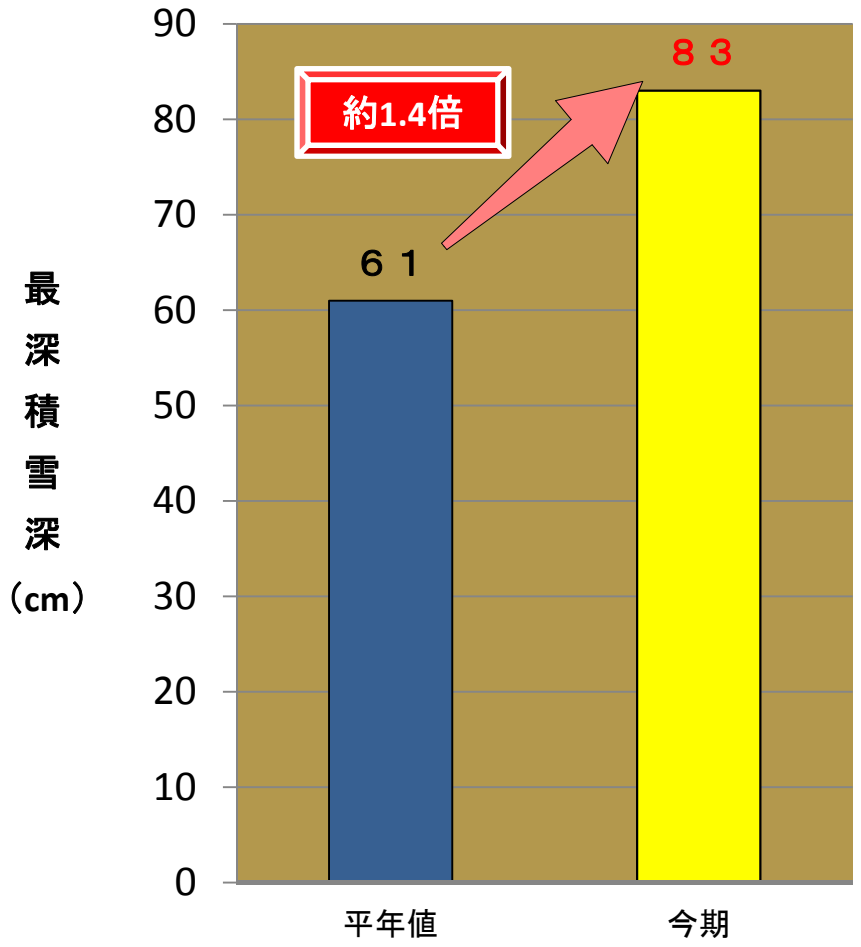
作業の効率化

●大変助かっている。水量が増えてから捨場に困らなくなり除雪が楽になった。（70代　女性）

●すごく助かっている。以前は屋根の雪はためておいて、何日もかけて流していたが、今はかなり楽になった。（60代 女性）

●今までは歩道に雪が山になっていたが、今は流雪溝に捨てても詰まらないのでかなり楽になった。（60代　男性）

積雪深の比較（H27.1.31 現在：気象庁データ）

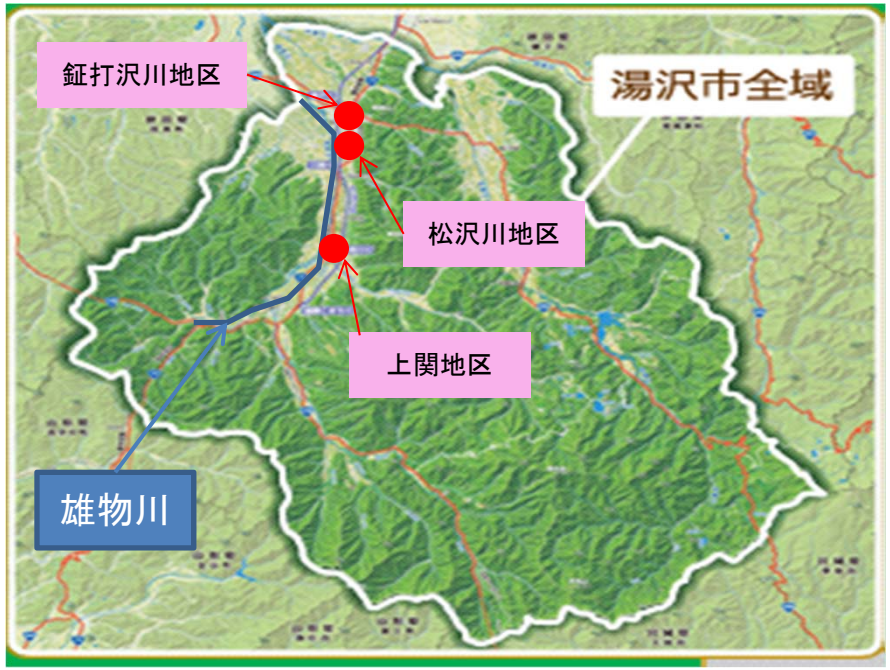


（1985年～2010年）

湯沢観測所

今冬も例年にない大雪となっており、湯沢では1月31日現在で平年に比べ**約1．4倍**の最深積雪深となっています。

消流雪用水導入施設　整備箇所



湯沢河川国道事務所では、これまで湯沢市内の3地区で、消流雪用水導入事業の施設整備を行っております。

地区名	市町村	完成年度	受益面積（ha）	受益人口（人）	受益世帯数（世帯）	取水量（m3/s）
松 沢 川	湯沢市	H23	301.5	12,740	3,780	0.8
鉦打沢川	湯沢市	H23				0.5
上　　関	湯沢市	H24	22.2	210	70	0.1
計			323.7	12,950	3,850	

＊受益人口、世帯数は事後評価時点のもの

消流雪用水導入事業で安全で快適な暮らしを

雄物川上流湯沢地区　消流雪用水導入事業　計画概要



施設概要

〔松沢川地区〕
- 取水施設　：　1箇所
- 導水路　：　約1,030m
- 着水施設　：　1箇所
- 導水河川　：　松沢川

〔鉦打沢川地区〕
- 取水施設　：　1箇所
- 導水路　：　約1,100m
- 着水施設　：　1箇所
- 導入河川　：　鉦打沢川

工事期間　：　平成20～23年度


上関地区　計画概要
三 関 駅
JR奥羽本線
国道13号
至横手市
着水施設
約0．1m3/S
導水
国道13号
雄物川
取水施設
山田頭首工
酒蒔橋
至新庄市
施 設 概 要
〔上関地区〕
取水施設 ： 1箇所
導 水 路 ： 約100m
着水施設 ： 1箇所
工事期間 ： 平成24年度